

# 2022年度決算概況

2022年度は国内外の需要が伸び悩み、鋼材市況も軟調な1年となり、厳しい事業環境であった。当社単体純利益、単体総資産、SCGMグループ管理純利益は以下の通り。

	2021年度	2022年度	差異
単体純利益 (日本会計基準)	79億円	96億円	+17億円
単体総資産 (日本会計基準)	1,597億円	1,640億円	+43億円
SCGMグループ 管理純利益※ (非監査、国際会計基準)	266億円	<b>251億円</b>	△15億円

※ 「SCGMグループ管理純利益」には、①当社及び②当社の関係会社に加えて、③当社の親会社である住友商事株式会社（以下、SC）の金属事業部門鋼材本部（以下、SC鋼材本部）傘下で当社が直接資本関係を有さないSCの関係会社（以下、SC鋼材本部傘下の関係会社）、及び④SC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業に関連する利益を含めております。

「SCGMグループ管理純利益」に③及び④に関連する利益を含めているのは、当社はSC鋼材本部傘下の関係会社（③）の運営並びにSC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業（④）に関連する取引遂行に対しても、SCとの業務受託関係や共同での戦略立案・推進等を通じて現に関与・支援していることを理由とするものです。

## Topics

### 単体純利益

・22年度は前期からの鋼材価格高騰の反動があったものの、為替影響等により、前期比+17億円となった。

### 単体総資産

・22年度は、為替影響等により、前期比+43億円となった

### SCGMグループ 管理純利益

・海外スチールサービスセンター事業が堅調であったが、前期価格高騰の反動により、若干の減益となった。